

# 年中だより

## 【恐竜の世界作りたいな】

恐竜の絵本を見ていた子が、「恐竜の世界作るのはどう？」と木や海を作り始めました。周りにいた子も気になった様子で、「骨もあるんじゃない？」「恐竜の足跡もあるよ」とかいたり貼ったりして一緒に作り出しました。「あと恐竜だね」と言って空き箱で作る子、紙に絵をかく子、恐竜になりきる子など、思い思いに恐竜を表現して楽しんでいました。

次の日、Aちゃんが「恐竜博物館したい」と教師に言うと、Bちゃんも「いいね。私もやる」と言って積み木で博物館を作り始めました。Cちゃんも加わり、「ここに海作りたいたい」と言うのですが、Bちゃんは「ここはダメ！ドアなの！」と思いが食い違ふことがありました。教師が「Bちゃんどこだったら海作ってもいい？」と聞くと、「ここならいいよ」と言いました。Cちゃんが「もっと広いところがいいの」と言って教師と海が作れそうなところを探していると、Aちゃんが「こっちドアにしたらいんじゃない？」と言いました。Bちゃんも「いいよ」と言って積み木を動かして別の場所にドアを作りました。Cちゃんはうれしそうに海を作り、先生や友達に見てもらって喜んでいました。

このように、先生や友達との触れ合いを楽しみながら遊んでいたかと思うと、思いの違いから、ぶつかることもあります。先生は双方の気持ちを受け止めたり、楽しい雰囲気をつくったりしながら、それぞれの子が気持ちを切り替え、ここにこ顔に戻れるように、相手にも思いがあることを感じられるように支えています。これからも自分の思いを出しながら先生や気になる友達と一緒に遊ぶ心地良さを感じられるようにしていきたいと思います。

## 【サーキット楽しいな】

親子遠足でおうちの人と一緒に楽しんだびよんぴよん棒。幼稚園でも楽しめるように準備をしました。また、いろいろな動きを楽しめるように一本橋やはしごも並べました。それを見た子どもたちは、「僕できるよ。見てて！」「私もやる」と遊び始めました。一本橋を渡っている子どもたちに、教師がワニになって「食べちゃうぞ」とパクパク食べようとする、子どもたちは「眠る薬です」とワニに薬を飲ませたり、「今僕は見えないんだ」と透明人間になりきって静かに歩いたりして渡ることを楽しんでいます。また、「はしごの下は炎があるから熱いんだよ」と言いながらはしごを渡ったり、びよんぴよん棒を両足で力強く跳んだりして体を動かしています。

このようにこの5月の涼しい時期に風の心地よさを感じながら、たくさん体を動かして遊んでいます。6月になるともっと暑くなってくると思うので、泥んこ遊びや水遊びを通して水の気持ち良さを味わいながら引き続き戸外でのびのびと遊ぶことを楽しめるようにしていきたいと思います。

